

<統合分野>

在宅看護論実習

目 的

地域で生活する療養者とその家族を総合的に理解し、それらの人々が望んでいる暮らしや生き方を尊重した看護を実践できる能力を養う。

目 標

1. 療養者とその家族の身体的・精神的・社会的側面について、生活過程や生活状況から総合的に理解できる。
2. 療養者とその家族の生活上のニーズを尊重し、個別の生活の場に即した援助が実践できる。
3. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携と看護の役割を学び、継続看護の重要性について理解できる。
4. 在宅支援における社会資源の活用について理解できる。

内 容

<地域包括支援センター>

1. 地域包括支援センターの機能と役割の理解
 - 1) 地域の特性とそこで生活する人が抱える生活課題
 - 2) 介護予防マネジメント、総合相談・支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防事業
 - 3) 社会資源活用の目的・内容の理解
 - (1) 行政サービス（高齢者福祉サービスなど）
 - (2) インフォーマルサービス（民生委員、町内会など）
 - 4) 多職種の役割と連携

<デイケア>

1. 施設の役割と機能の理解
 - 1) 利用者の健康状態
 - 2) 残存機能維持に向けたリハビリテーション・日常生活行動の援助の必要性
 - 3) 生きがいきづくりや社会的孤立予防などの精神的・社会的意義

<訪問看護ステーション>

1. 施設の役割と機能の理解
2. 在宅療養者・家族の理解
 - 1) 療養者の健康状態を捉える
 - (1) 現在の健康障害の状況、ADL
 - (2) 行われている治療・看護・介護の内容
 - (3) 現在の状況に至った経緯
 - 2) 療養者とその家族の社会的・生活状況を捉える
 - (1) 在宅療養に対する療養者とその家族の思い
 - (2) 在宅での療養生活への適応状況
 - (3) 1日、1週間の過ごし方
 - (4) 療養者とその家族の生活を支える介護者の存在
 - (5) 社会資源の活用状況
 - (6) 経済状況、住居環境
 - 3) 療養者とその家族の特性を捉える
 - (1) 健康障害に対する療養者および家族の認識
 - (2) 家族関係、主たる介護者との関係
 - (3) 療養者とその家族の性格、生活習慣、生活過程
 - (4) 家族の介護力
 - (5) 介護負担
3. 在宅療養者・家族が円滑に生活するための援助
 - 1) 療養者とその家族の健康や生活への影響を捉える
 - 2) 療養者とその家族の生活に応じた援助方法を学ぶ
4. 在宅療養者を支えるための多職種との連携、継続看護についての理解
 - 1) 社会資源の活用の目的・内容
 - 2) 多職種カンファレンスの目的と看護の役割

方 法

<学内実習>

実習前

ねらい：必要な知識や看護技術を習得し、臨地実習に備える。

1. 実習オリエンテーションを受ける。
2. バイタルサイン測定、肺音聴取の技術練習
3. DVD学習「訪問看護の基本」「地域包括支援センター」

実習中

ねらい：訪問計画・日々の記録を振り返り、実習課題を達成するために必要な学習をする。また、訪問看護で主に行われる看護技術を学習し、知識の習得と看護実践に向ける。

1. 訪問計画の見直し・修正
2. 看護実践に必要な技術練習や学習
 - 1) 浣腸と排便、口腔ケア、経管栄養など
 - 2) DVD学習

「在宅リハビリテーション」「在宅酸素療法（HOT）」「在宅経管栄養法」など

<地域包括支援センター>

1. 地域包括支援センターの役割と機能について説明、施設内のオリエンテーションを受ける。
2. 訪問に同行し、支援状況を見学する。
3. 実習終了翌日、カンファレンスを行う。

<デイケア>

1. 施設の構造・設備・概要についてオリエンテーションを受ける。
2. 利用者の日常生活行動援助を行う。(排泄・入浴・食事介助など)
3. 集団レクリエーションに参加する。
4. 2日間カンファレンスを行う。

<訪問看護ステーション>

1. 施設の概要などのオリエンテーションを受ける。
2. 受け持ち療養者及び同行訪問する療養者の情報収集を行う。受け持ち療養者は1名とする。
3. 訪問看護師（指導者）に同行し指導のもと、看護技術を見学・実施する。
4. 実施した援助は報告し、指導を受ける。
5. 受け持ち療養者宅に初回訪問翌日、訪問看護計画を提出し助言を受ける。
6. 受け持ち療養者宅訪問2回目からは、訪問看護計画をもとに看護を実践する。
7. 毎日カンファレンスを実施する。
8. サービス担当者会議や退院前カンファレンスなどに参加する。
9. テーマカンファレンスを開催し、指導者より助言を受ける。
 - 1) 実習1週目
テーマ：受け持ち療養者の生活過程をふまえた全体像と訪問看護計画の中間評価
 - 2) 実習2週目
テーマ：受け持ち療養者への看護計画や実践の評価、訪問看護の役割、自己の課題

<3施設の実習終了後のレポート>

- 3施設での実習の学びを通して、目標3について共通レポートに記載する。